



## 四月期人事 「処遇改善を念頭に行う」

### ベテラン職員の処遇 改善は重要課題

東海建設支部は一月二日、身上書の尊重を求める地整局長交渉を行いました。局長は、「身上書の尊重」姿勢を示し、「処遇を念頭に人事を行う」ことを明言しました。また、一月九日に持ち回り閣議で決定された「国の特定地方行政機関の事務等の移譲に関する法律案」については、「閣議決定はされたが法案提出されたわけではない」とし、「日頃の業務や災害時の活動などを通じ、地域から信頼・評価されるよう努力することが重要」、「雇用も重要であり、本省に話をしていく」と回答しました。



当局を追及する支部執行部

### 地域防災人事 は理解できる

東海建設支部が「処遇を念頭に置いた人事を行うのかどうか」と質したのに対し局長は、「適材適所、総合判断、厳正公平など」「人事の基本」を前置きしつつも、「処遇改善も念頭に置いて適切に行っていく」と回答しました。ブロック内、同一事務所内での昇任・登用を行い、単身赴任や長時間通勤を減らす「地域防災人事」の求

### 2012年 局長表明

「身上書を尊重せよ」と言うことについて、この場であらためて身上書についての考え方を述べておきたいと思えます。

身上書は配置転換等のための参考資料であり、事柄の性格上全部が必ずしも本人の希望通りになるとは限らないことを理解して頂きたい。配置換えにあたりましてはこれまでいっつもりでありますが、身上書等によって把握した個人的事情あるいは希望もできるだけ尊重することとしております。このような身上書に対する従来の方針を変えるつもりはありません。

身上書の悪用・逆用という主張に関しては、悪用・逆用と解されないよう努めるものであり、身上書ができるだけ尊重するという主旨の通り今後とも対処したい、と考えております。

なお、身上書は職員の健康状態、生活状況、勤務に関する希望等を正しく把握するためのものであり、大切に扱ってきており、今後とも変わりはありません。

また、事務所長は人事形成の過程において役割を有する者であり、事務所長が職員を管理し、事務所を統轄する立場として、把握した職員の希望や事情について、局長としてきりと受け止め適切に判断していきたいと思えます。

### 女性技官の 昇任・登用も

女性職員の昇任・登用について、「昨年来指摘している女性技官の内部昇任・登用が未だ実現していない」と指摘。「子育てしていないことで昇任に不利を生じている。正当な評価がされていない。転居や配転が昇任・登用の踏み絵にされているのが職場の受け止め」と追及しました。これに対し局長は、「人事の基本はあり、生活との調和にも配慮し、意欲ある女性の登用をすすめていきたい。」と

回答しました。

「子育てなど家庭の事情から昇任・登用要求を躊躇する女性も多々いる」との指摘に対しては、「職場環境をキチンとしていくことが課題。男性、女性問わず働きやすい職場環境の整備に力を入れていきたい」と回答しました。

### 増員が必要 職場は限界

増員については、年度途中の退職により地整全体で十余名の欠員が生じていることや、担当者が減るなかで青年層の配属先が制限され、配転希望がかなわない

問題を指摘し、新規採用による増員を求めました。これに対し当局は、「欠員はできるだけ少なくが人事管理の基本。職務・職場の希望は率直に出してもらいたい。再任用者も含めた人事の中で配置を考えていく」と回答しました。

「政府の新採抑制方針は人件

## 地域主権改革 閣議決定をそのまま 受け入れるわけではない



回答する梅山局長

出先機関移譲の問題で局長は、「閣議決定は敢然たる事実」と前置きしたものの、「地域主権戦略会議の議論では市長会・町村会と知事会とで意見が分かれている。今後詳細な検討や法案審議などのなかで議論されると思う。見守ってきたい。本省は『制度の詳細な検討が必要』として、『大規模災害への対応や根幹的なインフラ整備での整備の機能維持が大事。雇用維持についても引き続き主張する』と言っている。整備

### 雇用は極めて重要

「法案で『雇用については配



費削減が目的。国民からの付託に応える観点で欠如している。採用拡大の努力を」との求めに対しては、「さまざまな制約はあるが、他機関からの確保など知恵を絞りたい」と述べました。

### 人事を変えることが 今一番重要だ

最後に芝田委員長が「今年度は六〇数名も定年退職し十分ポストが空く。女性の昇任登用は人事のやり方を変えないと限界にきている。国民の負託に応えるために今年人事が地域防災人事であり内部昇任に思う。処遇改善をどのように行うのか、ベテラン層の改善で主張してきた。人事を変えてこそが今一番重要だ」と追及。局長が「いろいろのご意見を聴かせていただいた。良い仕事、良い職場を作るため引き続き努力をさせていただきます。」と